

日本語コミュニケーション学科の 英語授業におけるCLILの実践

武蔵野大学

山下理恵子（非常勤講師）

綱島珠美（非常勤講師）

武蔵野大学グローバル学部 日本語コミュニケーション学科

学科紹介：世界に日本を発信できる人材を育成

「グローバル化と国内外における日本語学習者の増加に伴い、日本語を教えたり、日本と日本の文化を発信できる人材が求められています。このような時代のニーズに応え、日本語コミュニケーション学科では、英語・中国語を身に付け、外国人留学生とともに学ぶ環境で日々異文化コミュニケーション力を磨きながらサブカルチャーを含めた日本文化と日本語を体系的に学び、日本を世界に発信し、日本語教員をはじめとする国内外で活躍できるグローバル人材を育成します」

www.musashino.u.ac.jp/academics/faculty/global_studies/japanese_communication/

英語のカリキュラム（選択必修）

1年生

Practical Communication

English for Qualifications / 基礎英語（留学生）

2年生

Practical Communication

English for Qualifications

Remedial English

3年生

Practical Communication

English for Qualifications

英語資格試験演習



ENGLISH FOR QUALIFICATIONS

クラス編成、授業の概要

- ✓ **Aクラス**（TOEIC500点以上、ほぼ全員留学生）、**Bクラス**（TOEIC340点以上500点未満、日本人学生と留学生）、**cクラス**（TOEIC340点未満、主に日本人学生）、**基礎英語**（TOEIC300点未満、留学生）の4クラス。
- ✓ 4学期制週2回（火、金）の授業（各学期16回）。
- ✓ 金曜はクラスごとにテキストを使って学習。
- ✓ 火曜日はA・B、C・基礎英語の合同授業。
←CLIL導入を検討。

ENGLISH FOR QUALIFICATIONS

- ✓ これまではTOEICなど資格試験の学習を重視。
- ✓ 東京オリンピックで活躍できる人材教育という主旨に沿わない。
- ✓ 一部の留学生（TOEICスコア高得点者）にはTOEICの試験準備対策に特化した授業はあまり有効ではない。
- ✓ 日本文化を発信できる人材育成のための英語教育への転換



CLILの導入

ENGLISH FOR QUALIFICATIONS

CLILにおける4つのCを統合し、質の高い教育を提供する

Content: 日本の文化/地理・歴史/観光名所の案内など

Communication: 4 技能を使ったタスク

Culture/Community: 多国籍の学生との知識の共有、グループでのリサーチやディスカッション、合同プレゼンテーション

Cognition: 日本文化や日本に関する知識を深め、結果をまとめて発表しアイデアを出し合い集大成を作成したりする。

JAPANESE COMMUNICATION における4C

Cognition

日本文化や日本に関する知識を深め、その結果をまとめて発表したり、アイデアを出し合い、集大成を作成したりする。

Content

- 日本の伝統文化
- 日本のサブカルチャー
- 日本の地理、歴史
- 観光名所の案内

Communication

- 4 技能を使ったタスク
- 日本文化について記述する教科書のReading
 - 映像などListening演習
 - Shadowing
 - Discussion
 - Presentation
 - 地図、観光案内、雑誌記事などをWriting

Culture/Community

- 多国籍の学生との知識の共有
- グループでのリサーチやディスカッション
- グループワークで自分たちのアイデアをまとめる
- 合同プレゼンテーション
- グループごとに報告結果を作成する

問題点

- 英語力の差が大きい。Aクラス（留学生）はすでに英語のコミュニケーション能力が高いが、他のクラスは基本的なスキルが不足している。
- 留学生は、日本語教師となる、日本企業に就職するなどの目的を持ち、日本や日本文化というコンテンツへの興味が高い。一方、日本人学生は必ずしも「日本」コンテンツに関心があるわけではない。
- 英語学習意欲が必ずしも高くない。

1 学期：PROJECT 1

JAPANESE AREAS

グループで日本の地域（北海道、東北、関東、中部、関西、中国、四国、九州、沖縄）を調査し、地理、人口、産業、名所、名産、祭りなどを紹介。

- 協同作業でお互いを知る
- 英語運用能力のチェック
- パソコンでの検索やパワーポイント作成のスキルをチェック
- 日本の風土について理解する

PREFECTURES:

The () area has
() prefectures.

They are
()
).

POPULATION:

The population of the ()
Area is ().
() Prefecture has the
largest population.

GEOGRAPHY/CLIMATE:

The () area has
().
The climate of the area is
().

INDUSTRY:

The largest industry of the area is

(). For example,
().

SPECIALTIES (PRODUCT):

The () area has
specialties such as ().

Explain details. / Use visuals (Power
Point).

SIGHTSEEING SPOTS:

The () area has famous
such as ().

Explain details. / Use visuals.

FESTIVALS:

The famous festivals in this area are
().

Explain details. / Use visuals.

CHUGOKU REGION

Sightseeing Spots

The Chugoku area has famous spots such as Itsukushima-jinja. It is registered with world-class cultural property of UNESCO at the famous shrine in Hiroshima.

This shrine is on the sea, and a full pull of tide sometimes covers it up.

A red torii stands in a blue sea tightly, and it's fantastic!





TEA

	Prefecture name	(t)	(%)
1	Shizuoka	30,800	37.6
2	Kagoshima	26,600	32.4
3	Mie	6,130	7.5
4	Miyazaki	3,770	4.6
5	Kyoto	3,160	3.9
6	Fukuoka	1,920	2.3
7	Nara	1,710	2.1
8	Kumamoto	1,290	1.6
9	Saga	1,170	1.4
10	Aichi	880	1.1
11	Nagasaki	718	0.9
All japan		82,000	100

Kyushu area accounts for
about 40%
of the whole country.



1 学期 : PROJECT 2

HATO BUS TOUR

Webで東京のはとバスツアー（英語バージョン）を調べて、半日コース、1日コースで紹介したいツアーを選ぶ。

「旅行会社」「お客さん」に分かれて、おすすめのコースを紹介する（会話）。

- はとバスツアーの内容を学ぶことで、東京観光について知識を得る（2学期には自分たちでツアーを企画するので、その参考とする）
- 値段、時間、食事など基本的な情報をみつけて、英語で説明できるようにする
- 英語でスムーズに会話する（ロールプレイ）

1 学期：PROJECT 3

TOKYO 23 WARDS

ペアに23区のいずれかを割り当て、2つの名所を選んでもらう。区全体と2つの名所を紹介。

- 東京について知識を深め、魅力的な名所を選ぶ。
- 観光名所について英語で紹介する。
- 原稿を提出し、ライティング能力を評価する。

1学期の振り返り

- ◆ 上位クラスと下位クラスの差が大きい。下位クラスは英文を作るのが難しく、大幅なscaffoldingが必要だった。
- ◆ 留学生と日本人学生がお互いにコミュニケーションをとり、学習できた。ただし、英語運用能力やコンピュータスキルの高い学生の負担が大きかった。
- ◆ 日本の風土に関する知識を深めた→2学期は知識を基に、自分で観光ツアーを組み立てる。
- ◆ 「発表のとき会話形式にしたらどうか」という提案が学生からあり、採用したペアもあった。

2学期：PROJECT 4

PUBLIC TRANSPORTATION IN TOKYO

JRの路線地図をみながら、東京の電車マナー、乗り換え方法などを学習。

ある場所に行くために、何種類かのルートと比較し、質問に答えられるようにする。

2学期：PROJECT 5

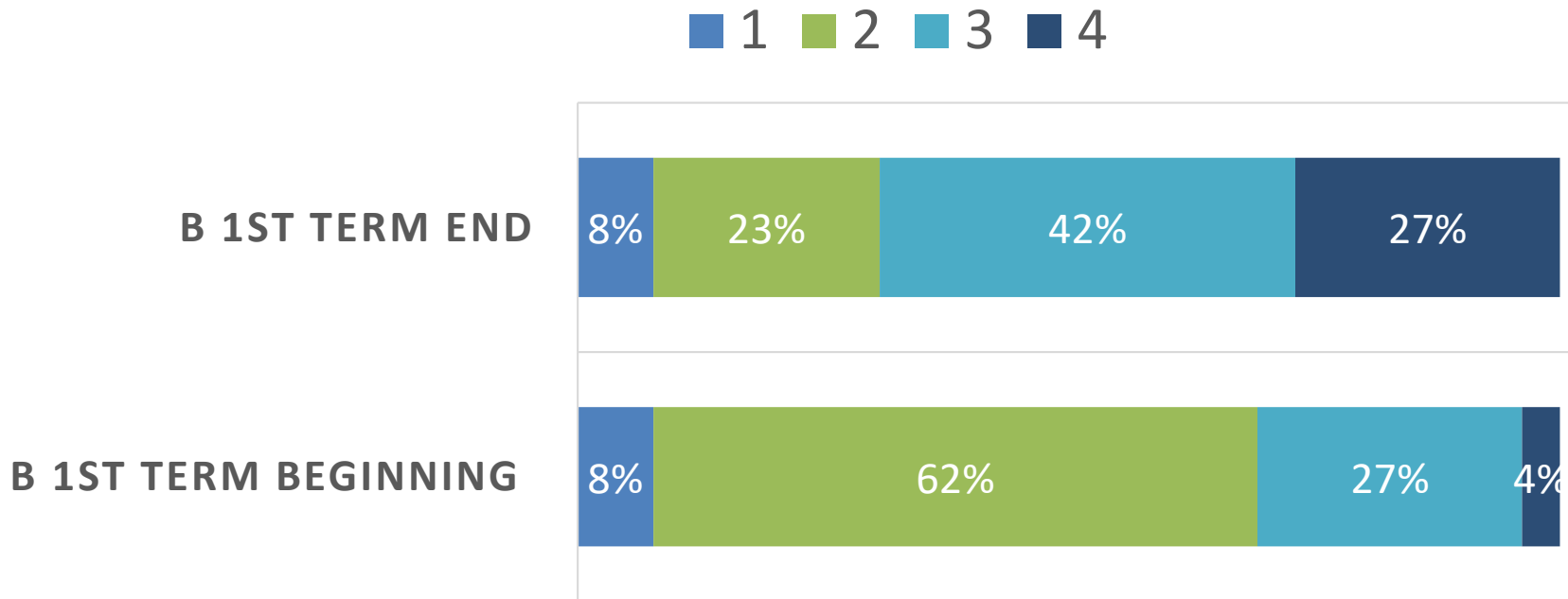
OUR TOKYO TOUR

グループでアクティビティを含めた独自の「東京ツアー」を企画する。

- ◆コンセプトを広告（キャッチフレーズとビジュアル）にする。
 - ◆ツアーで訪れる場所の地図を作成し、経路を説明できるようにする。
 - ◆訪れる場所をポスターにする。
 - ◆行うアクティビティをポスターにする。
- これらを使ってツアーをプレゼン。

CLASS B: 1ST TERM COMPARISON

Q3 クラスやグループ内で自分の意見や考えを明確に表現することができる

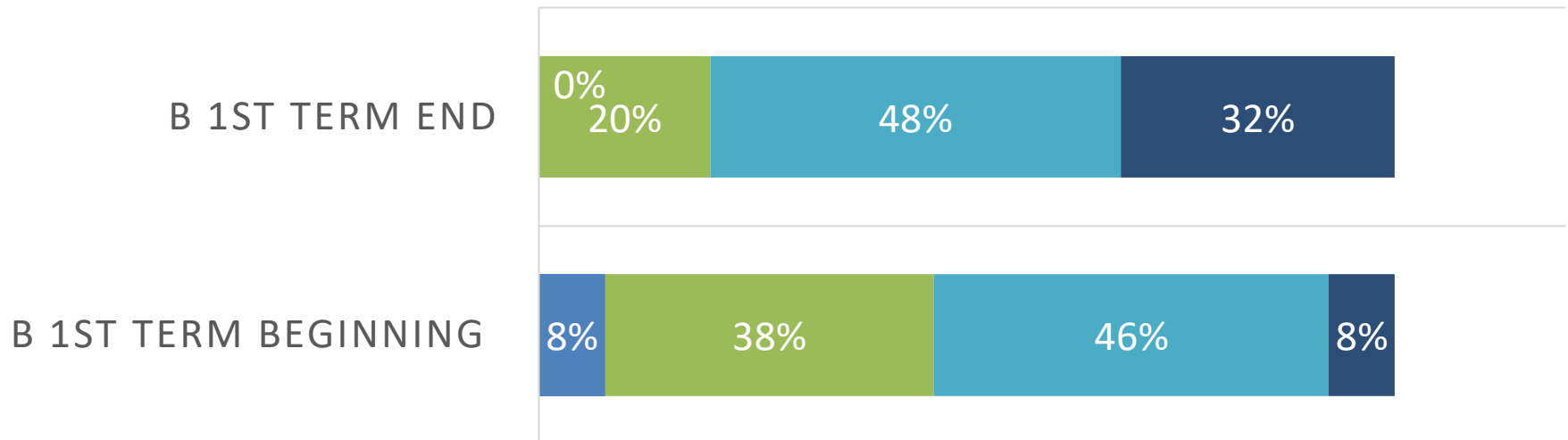


4 : 75～100%くらいできる
3 : 50～75%くらいできる
2 : 25～50%くらいできる
1 : 0～25%くらいできる

CLASSB: 1STTERMCOMPARISON

Q9 英語で書かれたテキストや資料 の必要な部分を読み取ることができる

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4



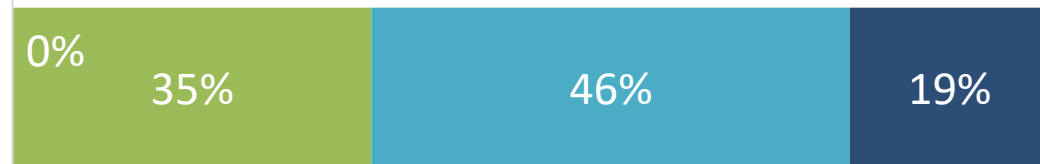
4 : 75～100%くらいできる
3 : 50～75%くらいできる
2 : 25～50%くらいできる
1 : 0～25%くらいできる

CLASS B: 1ST TERM COMPARISON

Q14自分の関心ある事柄・話題についてわかりやすく、詳細に書くことができる。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4

B 1ST TERM END



B 1ST TERM BEGINNING

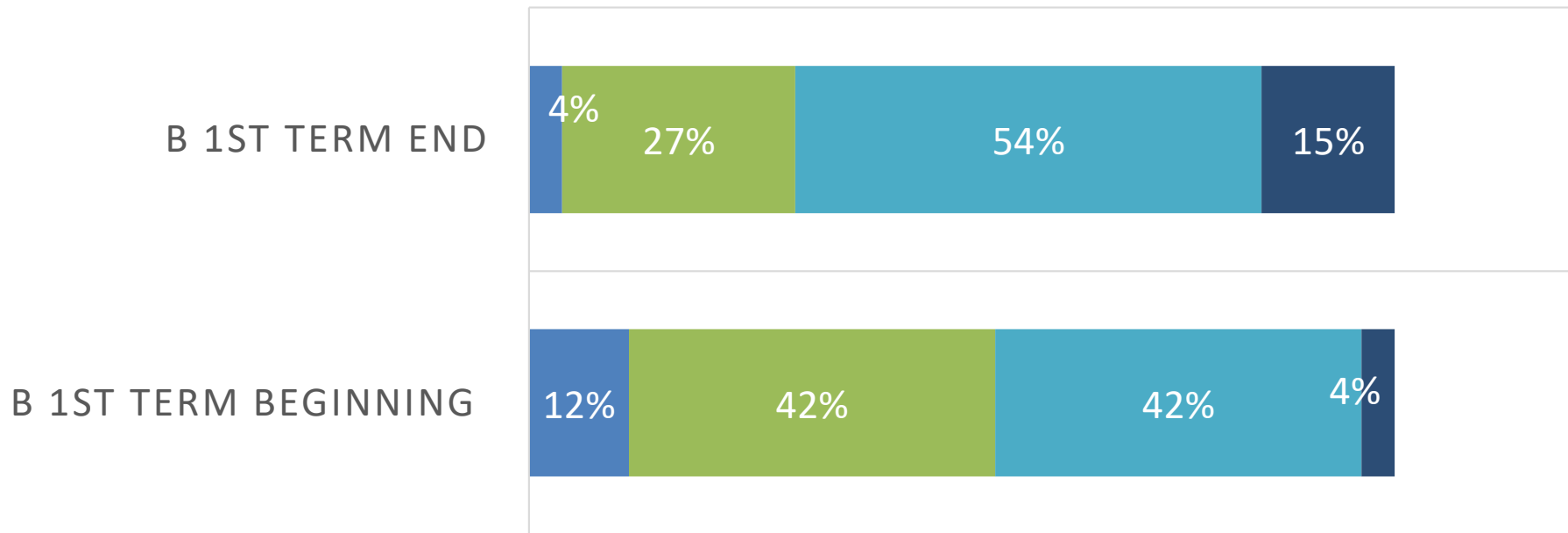


4 : 75～100%くらいできる
3 : 50～75%くらいできる
2 : 25～50%くらいできる
1 : 0～25%くらいできる

CLASS B: 1ST TERM COMPARISION

Q20 説得力のあるプレゼンテーション ができる。

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4



4 : 75～100%くらいできる
3 : 50～75%くらいできる
2 : 25～50%くらいできる
1 : 0～25%くらいできる